

公益財団法人 日本骨髓バンク 第93回 業務執行会議 議事録

開催方法：WEB 会議形式で開催

(本会議を WEB 開催することに関して全理事の同意を得た)

日 時：2023 年（令和 5 年）11 月 17 日（金）17:10～18:10

出 席：小寺 良尚（理事長）、岡本 真一郎（副理事長）、佐藤 敏信（副理事長）

浅野 史郎（業務執行理事）、加藤 俊一（メディカルディレクター）

石丸 文彦（理事）、鈴木 利治（理事）、高橋 聡（理事）、橋本 明子（理事）

日野 雅之（理事）、福田 隆浩（理事）、杳沢 一晃（監事）、藤井 美千子（監事）

欠 席：鎌田 麗子（理事）、瀬戸 愛花（理事）、三田村 真（理事）

陪 席：猪俣 研次（厚生労働省健康局難病対策課移植医療対策推進室室長補佐）

横田 友子（厚生労働省健康局難病対策課移植医療対策推進室係長）

事務局：小川 みどり（事務局長兼医療情報部長）、田中 正太郎（総務部長）

中尾 るか（ドナーコーディネート部長）、関 由夏（移植調整部長）

戸田 泉（広報渉外部長）、荒井 茂（総務部 T L）、上原 淳（総務部）

(順不同、敬称略)

1) 開会

開会にあたり小寺理事長が挨拶した。

2) 業務執行会議の成立の可否

業務執行会議運営規則第 6 条により本業務執行会議が成立した。

3) 議長選出

業務執行会議運営規則第 5 条により業務執行会議の議長は理事長があたるとされ、小寺理事長が議長に選出された。

4) 議事録署名人の選出

議事録を作成するための議事録署名人は、業務執行会議運営規則第 8 条により議長及び出席した構成員が記名押印する。小寺理事長、岡本副理事長、佐藤副理事長、浅野業務執行理事がこれに当たるとされた。

5) 議事録確認

前回（2023 年 10 月 8 日）の臨時理事会議事録を全会一致で了承した。

[議 事]

6) 報告事項（敬称略）

(1) スワブ検査&オンライン登録の進捗状況について（トライアル 2 に向けて）

荒井総務部 T L が資料に基づき説明した。

スワブ検査オンライン登録の導入に向け令和6年度に200例のトライアル2を予定している。場合によっては今年度の補正予算に入る可能性もあるので、そうすると2月からトライアル2を実施する。その可能性も踏まえて、それに向けて準備を進めている。トライアル2に必要な動画やホームページの製作に取りかかりつつある。オンライン登録システムもトライアル2に間に合う形で開発を進めている。トライアル2から離れるが、厚労科研の後藤班でバリデーションを実施している。過去にドナーになった人への声掛けが先日始まった。

トライアル2に向けてバンク内のプロジェクトチームの体制を一部変更している。基本的にトライアル2完了時までを想定している。戸田広報渉外部長が就任されたので、スワブ導入プロジェクトチームに戸田部長も参加いただく。トライアル1からの変更点はこちらである。それに伴って役割分担が若干変更になっている。実際の活動が始まると広報渉外部との関りが大きくなって来る。

(主な意見)

<小寺> トライアル1のアウトカムは皆様にもう説明したか。

<荒井> 以前の業務執行会議で報告した。

<小寺> 問題なく終わって、検体もしっかり取れて、検査会社からするとDNAの量がちょっと少ないというのが2~3あったけれども、実際の検査には充分であったということか。

<荒井> 再採取する事態には至らなかった。

<小寺> 近い将来のバンクの事業にとって、ある意味エポックメイキングな技術である。関連外部機関が、厚労省、日赤、学会で、会議体だけが白抜きになっているのは意味があるのか。

<荒井> 物理的に存在する機関と会議体を色分けした。

<小寺> 200例の対象はどうなるのか。

<荒井> 一般の方が対象になる。トライアル1はバンクの職員であった。トライアル2は一般の方を対象にして、イベントや献血会場の隣でQRコードを配布することを予定している。

<小寺> ドナー登録を望まれる人ということか。

<荒井> トライアル2の200例は実際にドナー登録までつなげる。若い人を対象に実施する。

<小寺> 血液検体との比較はしないのか。

<荒井> 血液検体との比較はしない。あくまでもスワブのみである。

(4) 調整医師の新規申請・承認の報告

中尾ドナーコーディネーター部長が資料に基づき説明した。

令和5年9月26日から令和5年11月7日に新たに申請・承認された調整医師の人数は1名、異動・辞退は14名、合計で1222名である。

(5) 寄付金報告

戸田広報渉外部長が資料に基づき説明した。

前回報告できなかった9月分も含めて報告する。9月の寄付金額は1272万6506円で件数も千件を超えて大変多くの寄付をいただいた。8月に実施されたクラウドファンディングの入金、個人から300万円の寄付をいただいたことなどが大きかった。クラウドファンディングは岡三証券の100周年記念事業の一環で行われた。200万円を目標としたところ、250名弱の方から215万円の寄付をいただいた。その他にサントリーから昨年より100万円アップしたのだが、各病院に設置している寄付型飲料水自販機による寄付の入金があった。

10月の件数は前年同様で金額は100万円弱増加しているが、これは塩野義製薬から100万円の寄付をいただいたことが寄与している。10月も前年よりも増えている。今後もさらに寄付増額にむけてあらゆる機会を捉えて働きかけをしていきたい。物価高騰の折に寄付額が伸びていただいていることに感謝している。

(主な意見)

<小寺> 随分たくさん寄付をいただいて大変ありがたい。

(6) 採取件数報告

田中総務部長が資料に基づき説明した。

2023年10月の件数は国内BM68件、PB22件、国際が1件で合計91件、令和5年度4月から7ヵ月の累計は昨年度を若干上回る件数で推移している。

以上